

小田原のまちに 豊かな暮らしの風景を増やしたい



ストリートシアター2の様子

■活動地域

神奈川県小田原市

■活動期間

2014年4月1日～継続中

■活動体制

工学院大学 学生&OBO／都市デザイン・マネジメント若手専門家／小田原市役所 自主研究組織／地元活動団体／地域関係者

■活動キーワード

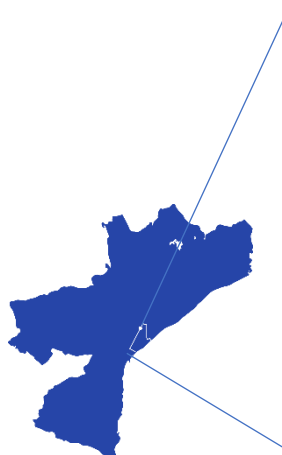
中心市街地活性化／プレイスメイキング／公共空間活用

■2017年度活動メンバー

M1 和田健／B4 都野佳奈
藤平啓太 渡部尚

-活動経緯-

小田原市の駅前中心市街地では小田原市による三大事業が進められており、これらの事業が街の核となる「点」であるとすれば、それらをつなぐ「線」や、その集合としての「面」を戦略的に整備していくことで、事業の効果がより高められると考えられる。そのため、小田原 Lab.は中心市街地エリアを中心に様々な課題や資源を洗い出し、それらを解決、活用するための都市デザイン・マネジメントの企画提案をしていく。



-対象地の概要-

小田原 Lab.の活動は小田原駅の東側に広がる商業エリアから、相模湾まで広がる武家地・水産加工エリアまでを対象としている。この土地は様々な歴史・文化を継承しており、駅を出てすぐに見える小田原城が持つ氏族の歴史から、名産であるかまぼこなどに関する漁業の歴史、かつての文化人たちが残した伝統工芸や文学の歴史などを有している。また、小田原銀座通りでは毎年3回の「小田原まちなか軽トラ市」や月に一度の「小田原まちなか朝市」などの地産地消をコンセプトに商店街を盛り上げる企画が行われている。

-昨年度までの活動-

初年度の調査研究を踏まえ、史跡整備用地の活用企画「芝活」や、軽トラ市にて空き家のガレージ・道路沿いの駐車場をプレイスメイキングの手法により空間デザインする「軽トラ市×ストリートPJ」を継続して行ってきた。今後はこの企画を地域の人に引き継いでマネジメントしていく方法を検討する。

2017年度の活動内容

今年度は、「活動報告会&芝活ピクニック」からはじまり、5・8・11月の「軽トラ市×ストリートPJ」で、プレイスメイキング企画を行った。

【活動報告会&芝活ピクニック】

4/27(土)に行った3年間の活動報告会の参加者を集め、史跡整備用地である弁財天曲輪ポケットパークにて芝活ピクニックを行った。食べ物は万葉の湯や隣接するイタリアンのお店からテイクアウトし、普段ならできないアクティビティのある空間を作り出した。(写真1)

【Street Theater2】

5月28日(日)の10時から13時半まで、店舗として利用されていない鶴亀屋ガラス店のガレージにて、子どものらくがきスペースや手品ショーとのコラボ、コメントボードなど使い空間デザインをした。(写真2.3)

【Street Theater3】

8月6日(日)の17時から20時半まで、鶴亀屋ガラス店のガレージに電飾を施し、冷たい足湯やプロジェクションマッピング、バルーンアートパフォーマンスとのコラボなどを使い、軽トラ市の憩いの場として空間デザインをした。(写真4.5.6)

【Street Lounge2】

11月26日(日)の10時から13時半まで、屋外駐車場スペースに芝生を敷き、飲食スペースや落書きボードハンモック等を用いて、通りの憩いの場を空間デザインした。(写真7)

